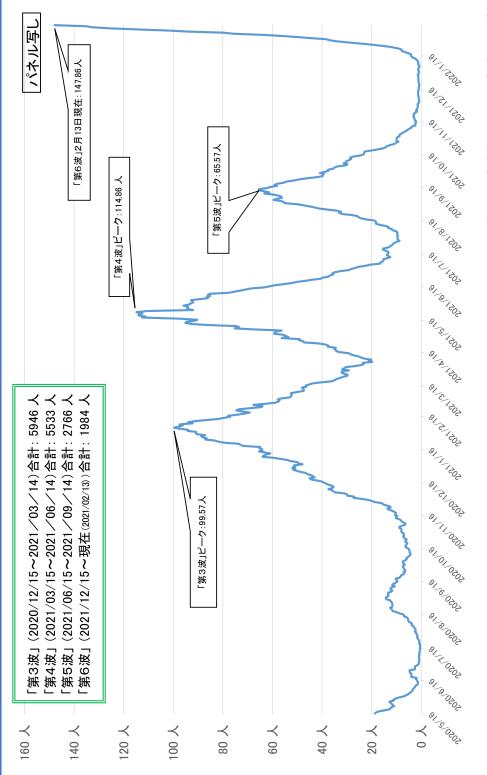
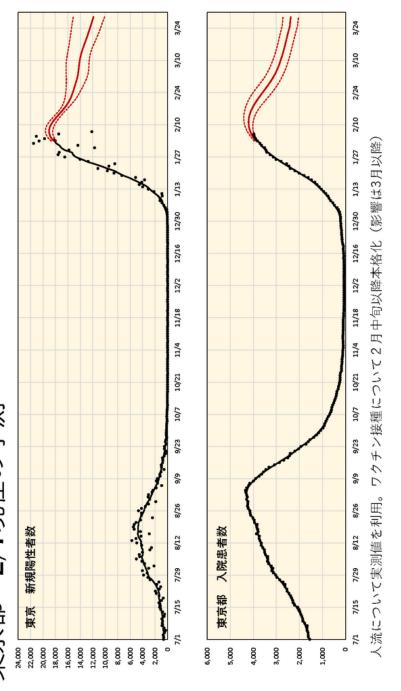
(7日間移動平均) 十死口 日当たりのコ



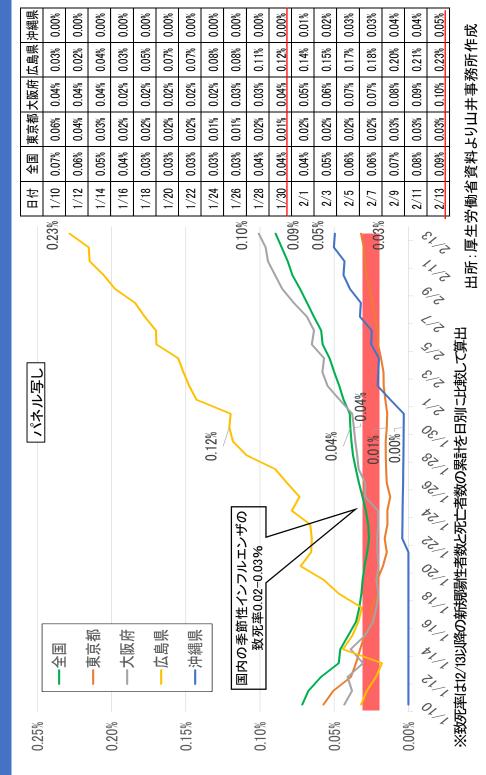
出所:厚生労働省資料より山井事務所作成

夏京都 2/7現在の予測



例~」 平田晃正教授) 出所:「新規感染者数のピークについて~東京における今後の予測例~(名古屋工業大学 先端医用物理・情報工学研究センター長 平田)

致死率の推移



国立感染症研究所	TO 11 . 74 . 11
(インフルエンザ等との比較	
新型コロナウイルス感染症について(インフルエンザ等との比	

 感染者数 (約287,400人) ※ 数千万~20億人 (約100-1500万人年) (第287,400人) ※ 数千万~20億人 (約100-1500万人年) 死亡者数 (約287,400人) ※ (約2000万人) 死亡者数 (1104万人※ 1 (202000万人) 政死率 (114%)※ 2.※ 3 (0.001-1%) (第25万人 (約250-3400人)年) (第2500-3400人)年) (第2600-3400人)年) (第26000月) (第2600000万人) (第26000000000000000000000000000000000000		新型コロナウイルス	新型インフルエンザ (H1N1)	季節性 インフルエンザ	SARS	MERS
(4,093人) ※2 (約2500-3400人)年 (774, (14,093人) ※2 (203人) (203人) ※2 (203人) (203人) (20250-3400人)年 (0.0人) (0.0人	感染者数 (国内)	約8,971万人※ ¹ (約287, ₂ 00人) ※	。 数千万~20億人 (約2000万人)	年間大人の5-10%, 子どもの20-30% (約1100-1500万人年)	8,098人 (0人)	(^{無計)} 2,494人 (0人)
2.2% 0.001-1% 0.1% 0.1% (1.4%)*2、**3 (0.001-1% (0.02-0.03%) (0.002-0.03%) (0.002-0.03%) (0.002-0.03%) (0.002-0.03%) (0.002-0.03%) お型インルエンザ等 歳決症 (0.002-0.03%) 指定感染症 (0.001/31) 新型インルエンザ等 がならた旨を公表し、通常の 季節性インルエンザを寄せて(11/3/31) あり あり おしんデンビル 抗インフルエンサアチン インフルエンザアデン インフルエンザフテン	死亡者数 (国内)	約194万人 ^{※1} (4,093人) ※ ²	(~2010年8月) 18.5万人 (203人)	約 65万人/ 年 (約2500-3400人/年)	(~2003年7月) 774人 (0人)	(無計) 858人 (0人)
2009年12月 2009年5月 上共シコ	致死率 (国内)	2.2% (1.4%)*².*³	0.001-1% (0.001%)	0.1% (0.02-0.03%)	9.5%	34.4%
 新型インフルエンザ等	感染確認さ れた時期	2020年12月 中国	2009年5月 メキシコ	I	2002年11月 中国	2012年9月 サウジアラビア
(20/1/20) あり なし なし (20/1/20) (09/4/26) なし なぶどし がインルエンゲ薬 がインフルエンゲ薬 カインフルエンゲアクチン インフルエンゲワクチン	措置状況	指定感染症 (20/1/31)	新型インフルエンザ等 感染症 (09/5/12) ↓ 新型インフルエンザ等感染症と認め られなくなった目を公表し、通常の 季節性インルエンがに終行 (11/3/31)	五類感染症	新感染症 (03/4/3) 指定感染症 (03/7/1) 一類感染症 (03/11/5) 二類感染症 (04/6/1)	指定感染症 (14/7/16) 二類感染症 (15/1/21)
レムデンどル 抗インフルエンゲ薬 抗インフルエンゲ薬 ワクチン開発中 インフルエンザワクチン インフルエンザワクチン	PHEIC 宣言	あり (20/1/20)	あり (09/4/26)	なし	I	なし
	治療薬 ワクチン	レムデシビル ワクチン開発中	抗インフルエンザ薬 インフルエンザフケチン	抗インフルエンザ薬 インフルエンザワクチン	なし	なし

²⁰²¹年1月12日時点 (WHO Dashboardより) 死亡者数/懸染者数 (2021年1月12日時点)

配付資料

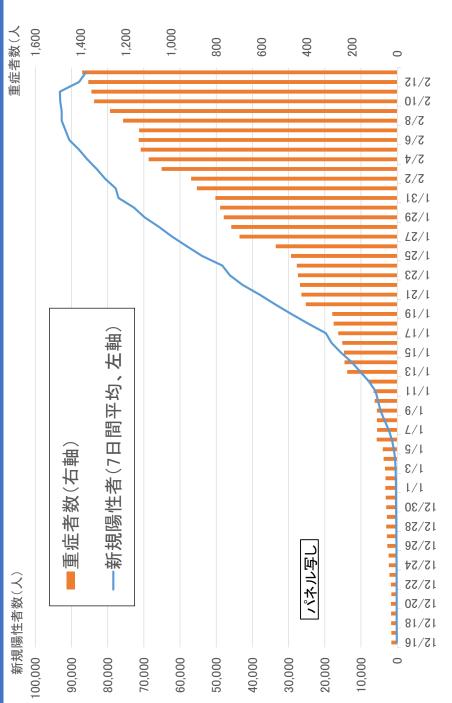
衆議院予算委員会 第五分科会 山井和則(立民)

2022年2月16日

[※] 人口動態結計によると、肺炎 (誤嚥性肺炎除く)の死亡者数は94,661人(H30年)※3 診断された人のうち、死亡する割合は60歳代以上で5.7% (新型コロナウイルス感染症のいまについての10の知識より)

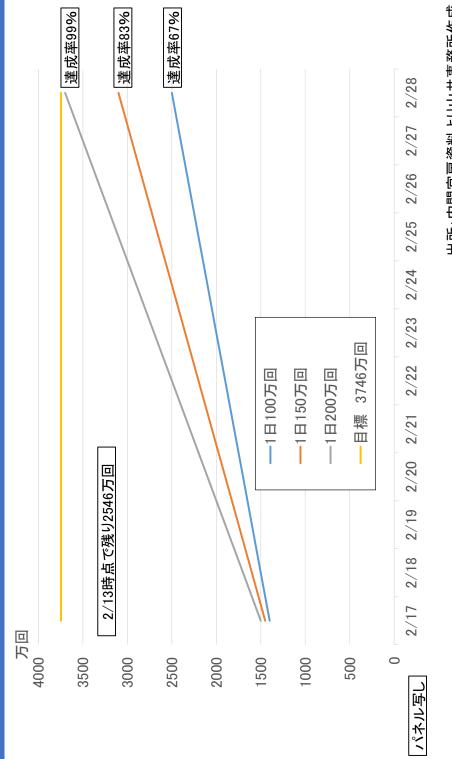
出所:第51回厚生科学審議会感染症部会(2021年1月15日)資料

と重症者数の推移



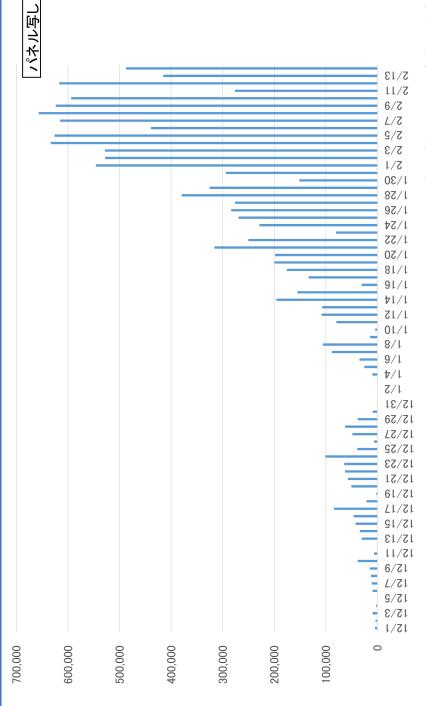
出所:厚生労働省資料より山井事務所作成

Ш Ш 9



出所:内閣官房資料より山井事務所作成

数の状況



出所:内閣官房資料より山井事務所作成

クチンの配送量 追加接種の対象者数とワ

- 国としては在庫を持たず、輸入されたワクチンを順次配送
- 3月までに使用するワクチンとして、約1,650万回分を追加配送 4月に使用するワクチンとして、約2,000万回分を配送
- 0000
- 3月、4月の職域会場用のワクチンとして, 約960万回分を確保 前倒1.後の対象者数1

	更な	[更なる前倒し後の対象者数])	単位:万人)
		追加接種のタイミング	R3. 12月	R4.1月	R4. 2月	R4. 3月	R4. 4月	R4. 5月	R4. 6月	R4. 7月
_		医療従事者等(約576)	487	68						
12.4	女.	高齢者(約3,294)	307	343	2, 241	348	36	16	4	
all the	※者	一般(約5, 125)	82	162	36	1, 514	1, 479	1, 301	473	79
	(万人)	職域(約1,169)				754	186	206	21	2
	(卅一)	合計	9/8	293	2, 276	2, 616	1, 701	1, 523	497	81
		累計	876	1, 470	3, 746	6, 361	8. 063	9, 586	10, 084	10, 164
_		職域(約1,169)企業分再揭				754	186	206	21	2
124-44	再揭	수計	928	263	2	3, 369	1, 888	729	518	83
		累計	876	1, 470	146	7, 115	9, 003	1	11, 250	11, 333
1	П									

パネル写

モデルナ社ワクチン約760万回(2月末配送可能)+約200万回(3月末配送可能) 約960万回分を確保

武田/モデルナ約1,750万回(2022年1月下旬) 約 500万回(2022年2月上旬) 約 650万回(2022年2月下旬) 約 650万回(2022年2月下旬) 約 650万回(2022年3月上旬)

配送日程:ファイザー約1,610万回(2021年内) 約1,000万回(2022年2月) 約 <u>350万回</u>(2022年3月上旬)

「職域」を除くその他の区分については、 「医療従事者等」は、令和3年7月30日までのワクチン接種円滑化システム(V・SYS)への報告から集計し、「職域」を除くその他年1月10日までのワクチン接種記録システム(VRS)への報告から集計している。 職域」については、都道府県単位で令和4年1月4日までのV・SYSへの報告数と上記のVRSの報告数を比較し大きい方を集計している

出所:厚生労働省資料

令者

(3月配送) (3月末配送) (4月上旬配送)

(ザー社ワクチン約700万回 () レナ社ワクチン 約550万回 (9 約750万回 (

約2,000万回分を配分

(約4,860万回分に加え、**約1,650万回分を追加配分)** 万回<u>+350万回</u>、武田/モデルナ社ワクチン約2,250<u>+1,300</u>万回

約6, 510万回分を配分(約4 (ファイザー社ワクチン約2, 610万回土

者 (65歳以上) の3回目接種状況

絞り込みフィルター

年代 () すべて () すべて () 65歳以上 () すべて () すべて () 男性

全国のワクチン接種状況

2022年2月14日時点

時点日、回数、データは毎日更新(土日祝日含む)1回更新 1回目および2回目は一般接種のみに限る



全体の92.66% 33,142,954回

○女性

全体の92.32% 33,022,538回

全体の24.62% 8,806,087回 全年代の人口:1億2664万5025人、65歳以上:3576万7994人(<u>母集団となる人口データの根拠について</u>)

出所:デジタル庁資料

2回目接種数

33,022,538回

3回目接種数

8,806,087回

 \parallel

高齡者必要接種数

24,216,451回

出所:デジタル庁資料をもとに山井事務所作成

介護老人保健施設で、新型コロナに 感染した入居者の看護に当たる医療 従事者ら=5日、北海道(北海道医療 大•塚本容子教授提供)

コロナ死者2万人超



新型コロナウイルスによる国内 の死者は累計2万人を超えた。現 在の流行「第6波」で主流となっ たオミクロン株の感染は軽症が多 いとされるが、1日当たりの死者 は事実上の過去最多を連日更新。 介護施設などで感染が広がり、高 齢者の死亡が増えている。現場の 医療従事者は、熱や喉の痛みから 入居者らの体力が削られ、 持病も 悪化して、感染をきっかけに死期 が早まるケースが相次いでいると 指摘している。

「頑張ろう」。2月上旬、

護施設で集団感染増

持病悪化で早まる死期

比べて重症化リスクが低い オミクロン株は従来株にを得ないという。 ている。感染した入居者をとコロナ」の管理に追われ つ入居者約90人のうち8割 と、認知症や基礎疾患を持 とされるが、塚本教授は「高 **施設で看護と介護をせざる** 療機関も少なくないなど、 ドは埋まり、 搬送したくても病院のベッ ほどが感染し、日々「持病 **の受け入れに消極的な医** 認知症がある

たケースもあった。しかしモ)」を使用して助けられ 齢者は増えているものの 第6波では、重症化した高 心肺装置「ECMO(エク たため、人工呼吸器や人工

代女性に声を掛け続けた。 で、看護師らが入居中の90 北海道の介護老人保健施設 大の塚本容子教授によるの支援に当たる北海道医療 り、持病の心疾患が悪化し コロナ感染による発熱があ この施設で感染対策など 役世代も相当数含まれて 〇〇人余りのうち、 年代が判明している死者80 厚生労働省の集計による 続で最多を更新している。 10日(164人) 18日 (216人) だが、そ まとめて計上した昨年5月 多は神戸市がて た重症者には体力のある現 と、8日までの約1カ月で、 れを除けば2月8日(15 は9割を占めた。 また従来は、肺炎となっ (162人) カ月半分を と3日連

やマスク着用といった基本 身茂会長は従来通りの換気 注目を集めた。 8件に上ったとのデー 28日はその2・5倍の33 件。一方で今年の一 だった昨年8月で135 染の件数は第5波のピー での感染対策が議題に上っ 策分科会でも、高齢者施設 型コロナウイルス感染症対 分科会後の配者会見で属 高齢者施設での集団感 タが ゥ

4日に開かれた政府の新

感染が一押しとなって亡くの、腎臓の機能が悪くなる。 齢者は発熱で脱水症状とな なる人も出ている」と話す。

旬から石肩上がり。過去最第6波での死者は1月下 ECMO使えず

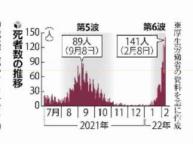
困難と判断される人 どを使うに至らずに救命が 回復力が弱く、 ある人だ。持病が悪化し、はほぼ高齢者か基礎疾患の で、第6波の感染後の死者 ンフルエンザと同じ構図 えられている」と説明。 吸器やECMOの使用は抑 なく、これまでより人工呼 で重い肺炎となる患者は少 長は「実際、 〇ネット」の竹田曹浩理事 NAO法人「日本ECM オミクロン株 **ECMOな**

着かない患者が発生していくく、救命治療までたどり 体力面などから人工呼吸器

傾向がみられるとした。 山口や沖縄など7県で減少 されている35都道府県では 能性があると指摘した。まり、近くピークを迎える可 8日までの1 警戒を促した。 迎が続く可能性がある。 と いる」との見解をまとめた。 ん延防止等重点措置が適用 ・19倍と、収束に向かう 当面は医療提供体制の逼 全国の新規感染者数は、 年代別の割合でみると、 」に近づきつつあ 適間で前週の

死者・重症者 増加続く

リスクのいっと、重症化歳未満の子どもと、重症化10元の子どもと、重症化10元のように た昨夏の「第5波」のピーとなり、デルタ株が流行し は2月8日時点で 増加。1日あたりの死者数 リスクの高い60歳代以上で 感染拡大が先行した沖縄 (89人)を上回った。



や死者数の増加が継続して

の高齢者が増え、重症者数 が続いているが、

60歳以上

省の助言機関は9日、「感染状況を分析する原生労働新型コロナウイルスの感

染者の増加速度は鈍化傾向

「感染 近くピークの可能性

ても、 と訴えた。また、オミクロ チンの追加接種を進めるこ 齢者の感染が目立つ。ワク 所長は「介護福祉施設の高 脳田隆字・国立感染症研究 じる可能性があるとした。 感染者数は再度、増加に転 内で検出されており、 ン株の別系統で感染力が強 院患者が増える恐れがある ナによる肺炎が見られなく 加が当面続くと分析。 者の感染による重症者の増 関は、多くの地域でも高齢 週間ほどかかった。助言機 者が減少に転じるまでに2 では、新規感染者数が減少 してから、 助言機関の座長を務める BA・2」も検疫や国 基礎疾患の悪化で入 入院・施設療養 新規 기미

「手遅れだ」

会(尾身茂会長)で、

コロナ分科会

季節性インフルエンザとの比較分析などを行 う方向だ。感染症法上の位置付けを現在の を議論する見通しとなった。オミクロン株と 動の両立に向けた「第6波」からの出口戦略 能性がある。 「2類相当」からインフルエンザ並みの「5 へ引き下げるべきかの議論に発展する可 (今仲信博)

||3面に「早い悪化」

対策本部(本部長・岸田文政府は10日、新型コロナ を開き、 東京など 防止等重点措置の期限延長13都県に適用している蔓延 と高知県を12日から追加す

『慎重に』という意見があ

難航する可能性もある 中」と語っており、 ロナウイルスは変化の進行

者施設 感染に苦慮

らどうなるのか」 できないなんて。 らどうなるのか」

◇ 職員も感染

スター7倍

居者8 が発生した。入院できたのロナに感染し、クラスター 域を分ける「ゾーニング」 は3人だけだ。 ト旬以降、60~90歳代の入り、 ス多を隠さない。1月 は、不安を隠さない。 残りは施設内療養とな 東京都内の特別養護老人 感染を防ぐため居住区 ム(特養)の施設長(49) 人が相次いで新型コ

んて。急変した 介護したが、職員にも感染用マスクや防護服も着けて 員は精神的にも身体的にも は、高齢者施設で発生した 負担が大きい が広がった。施設長は「職 今月6日までの1週間で2 クラスター 厚生労働省のまとめで 5 」と訴える。

齢者施設でクラスターが起

感染防護のガウンや手袋の着脱を 訓練する特養の職員ら(10日、束 京都武蔵野市で)=板垣茂良撮影

糖煤

を思い出して行った。医療を、昨年のオンライン研修 5波 92件を記録。 続けている。これに伴 約7倍に上り、

オミクロン株は重症化し

設内で療養していた。 する感染者の約8割が、 大阪府の2月初旬の調査で 新たな変異株「オミクロ 高齢者施設などに入居 一のピーク(34件)の一件を記録。昨夏の「第 今なお増え 施

ン株」は感染力が強く、

、院先なし 療養相次 300

□集団感染の主な発生場所 ※同じ場所で5人以上の感染者が 確認された事例。厚生労働省の 資料を基に作成 学校·教育施設 高齢者施設 200 児童福祉施設 100 企業など 飲食店 10 17 24 12 23 30 27 16

相次いでいる。感染対策に不慣療養を余儀なくされるケースが疲力を分院できずに施設内での

施設は対応に苦慮している。(社れで、支援も十分に届かない中、

野口博文、

医療部

で、高齢者施設での感染拡大がの増加スピードが鈍化する一方新型コロナウイルスの感染者

集団)の発生も急増し、病床逼続いている。クラスター(感染

きると特に抑え込むのが難きると特に抑え込むのが難き回る人がいる。あっという間に広がった」。感染したいう間に広がった」。感染したいう間に広がった」。感染 設では、 ナ病床も急速に逼迫してい 護」の事態に陥った。 職員の半数以上に感染が広 拡大が先行した沖縄県の施 **人居者を介護する「陽陽介** -発生で、 高齢者施設でのクラスタ 陽性の職員が陽性の 入居者ほぼ全員と 医療機関のコロ

患者が占める。 ほぼ埋まり、 症患者用に確保した56床は 板橋区)では、 日大板橋病院(東京都 約7割を高齢 重症・中等

つ。高山お軍司を関が目立の持病が悪化する例が目立 状況が、 3 が多い」と指摘。こうした から2週間ほどかかること 院できるが、 「若い患者は5日ほどで退 高山忠輝病院長補佐は 感染を機に糖尿病など いとされるが、 病床逼迫に拍車を 高齢だと10日 高齢者

政府の新型コロナウイルス感染症対策分科 蔓延防 感染拡大防止と社会活 ることを決めた。 (尾身会長)で上がった。た基本的対処方針分科会 声はこれに先立ち開催され ずれも3月6日まで。 尾身氏は記者団に対し、 出口戦略の議論を求める 期限はい 県

るのかを明確にすべきだ」 出席者から「どのようにな という意見が出たことを紹 『フルに』という意見と (社会生活が)元に戻 「社会経済活動を となって、社会経済活動との両立には、呆里下へとの両立には、呆里下へ |る。大きな戦略を早く議論 療養している感染者の健康 論する予定だ。 機能の強化策についても議 がある」とも語った。 いるところを分析する必要 フルエンザとの違いや似て する必要がある」と明言し 化は欠かせないからだ。 観察を行う保健所業務が逼 対策分科会では、 「オミクロン株とイン 見宅などで 保健所

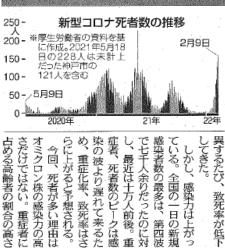
る時期を迎えているのは間 とした。出口戦略を議論す向や上げ止まりがみられる 違いないが、 府県のうち、7県で減少傾重点措置を適用中の35都道 門家組織は9日の会合で、 厚生労働省に助言する専 尾身氏は コ

'	× C	/ C DED	
臺	適用開始	対象地域	期限
쌾	1月 9日	広島、山口、沖縄	2月20日
1上等	1月21日.	東京、群馬、埼玉、千葉、神奈川、新潟、岐阜、愛知、三重、香川、長崎、熊本、宮崎	3月 61
蔓延防止等重点措置の状況	1月27日	北海道、青森、山形、福島、茨城、栃木、 石川、長野、静岡、京都、大阪、兵庫、 島根、岡山、福岡、佐賀、大分、鹿児島	2月20
9	2月 5日	和歌山	2月27日
綐	2月12日	高知	3月 6日

新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」に高齢者が感染

低い致死率も強い感染力

齢者追加接種遅れ



年五月の第四波中の百二十 者が最も多かったのは、 厚生労働省によると、

異するたび、

め、重症化率、致死率はさ染の波より遅れて来るた 感染者数の最多は、第四波ている。全国の一日の新規 らに上がると予想される。 症者、死者数のピー し、最近は十万人前後。重 で七千人余りだったのに対 クは感 致東 死京都 の 織アドバ 労働省に助言する専門家組 が問題という。

東京都府中市の都立多摩総合医療センターで、コロナ患者の容体を話し合う防護服姿の医師や 看護師=同センター提供

40%が近づく。 請する目安の一つとする30 う二週間先までは増えるだろ 積み上がっている状況だ。 も材に 「重症用病床はどんどん 医師会の猪口正孝副会長は取 日のモニタリング会議後、 都内の感染状況を分析する十 高齢者は重症化リスクが高 入院が長期化しやすい

肺炎悪化 都内、病床の逼迫懸念

が悪くなって重症化する患者が軽症でも、持病などの疾患いを症でも、持病などの疾患昨年末から流行するオミク コロナ病棟の責任者を務める都立多摩総合医療センターで人が現れ始めた」。府中市の人が現れが関する。原中市の る 日時点で43%が埋まってい ち重症者用の二十一床は十三 多摩地域で最も多く、このう 者用の病床は二百四十五床と の変化を指摘する。 西田賢司医師は、 患者の病状 コロナ患

新規感染減でも状況厳し

今月一 いている。 従来の都基準による重症者数 中治療室(ICU)などに入 クロン株の特性を踏まえ、集 は十四日時点で七十四人で、 O) 」をつけた患者を数える 心肺装置「エクモ(ECM 出てきているとみている。 都内の重症者数は増加が続 基礎疾患が悪化するオミ 日から四十五人増加し 人工呼吸器や人工 ている。 感染者は八日の約一万八千五 白人をピークに増加が止まっ

と病床の逼迫を懸念し

一週間あたりの新規

抑えられている一因とみられ約35%減っており、増加率が措置が出された直前と比べて る 夜間の繁華街の人口は、 二十一日にまん延防止等重点 感染リスクが高まる

29・2% (二百十九人) まで

緊急事態宣言を国に要

医師は「二月初めごろから肺

が目立ってきた。

都医学総合研究所の西田淳 感染拡大のさらなる

準による重症者病床使用率は っている人も数える都の新基

でそうした重症患者が一定数 感染する高齢者が増えたこと れるようになった」と話す。 炎が重症化する高齢者も見ら

東京都内の新規感染者数と重症者数 ※重症者は従来の都の基準 新規感染者数は 1週間平均の人数 60 40 (万人、右目盛 20 -15 1月 10 20 2月

警戒している。

専門家は「重症者数は減る見通しが立たない」と、病床の逼迫を に減少に転じているが、高齢者を取り巻く状況は厳しいままだ。 が東京都内で出てきている。都内の新規感染者数は八日をピーク し、重症化しにくいとされてきた肺炎の悪化で重篤となるケース

強調し、 呼び掛けている。 志・社会健康医学研究センタ 長期化を避けるため、 スクが高い行動を控えるよう アウトがゴールではない」と -長は「(第六波の)ピ

最多を記録している。 ロン株は重症化率、致死率の低さが指摘されてきた 国内で新型コロナウイルスによる一日当たりの死者 感染力が圧倒的に高いために、多くの死者が出て 重症化しやすい高齢者のワクチン三回目接種の 新変異株オミクロン株による第六波の中、 かつての変異株と比べ、オミク 豆子 三人だったが、 してきた。 によると、新型コロナは変 しかし、 人を超えた。 感染力は上がっ 致死率が低下 (沢田千秋) 今月九日、 東京都 過去 第6波 第4波 第5波 こはを※ による2月9日時点の推定値は東京大の仲田泰祐准教授らは東京大の仲田泰祐准教授らを基に作成。第6波の致死率を禁に作成。第6次の致死率 2020年 12月15日 2021年 3月14日 21年 3月15日~ 21年 6月15日~ 9月14日 12月~ 6月14日 テルタ料 アルファ株 1.7% 0.97% 0.31% 0.03% (1155 人)(496人) (632人) 0.21% 7.65% 6.07% 3.65% は28・9%に急増した。 接種を完了。 とともに減るため、 もともと、

いる。

遅れも響く。

どまり、デルタ株のような 接種は昨年五月から加速 種の促進や医療サポ る高齢者施設での三回目接 高齢者の感染が続けば、 は「感染者が減少しても、 隆字・国立感染症研究所長 スもある。 悪化のため重篤に至るケ 腎臓や呼吸器などの持病の ウイルス性肺炎を起こしに のウイルスはのど付近でと 疫低下が懸念されている。 ロン株を前に、高齢者の免 し、感染の中心となってい 専門家組織の座長、 六十五歳以上のワクチン いとされるが、高齢者は した抗体価は時間の経過 七月末には八割が二回 死亡者は増加する」 ワクチンで上 オミクロン株 オミク

に示された大阪府の資料で

九日、

厚

全体

60代 以上

重症者に占める八十歳

以上の割合は、

%だったが、

3 继 #1 111

後



広島県が昨年2月下旬か ら1月末までの患者データ の分析を専門家組織に提出 した。オミクロン株だけで

新型コロナウイルスのオミク ロン株による感染流行「黑っ 波一では、酸素投与が必要にな る患者の場合、昨夏の第5波よ りも症状悪化までの日数が短い ことが、厚生労働省に対策を助 言する専門家組織に提出された 資料で分かった。発売から3日 後に酸素投与が必要になるケー スが多く、第5波よりも4日程 度短縮されていた。全体の重症 化率はこれまでより低いが、高 齢者の重圧化リスクは若年層よ り高く、感染した場合は速やか に医療につなげることが重要に 16N0° (一個物版)

> 「時短要請など本当に効 果があったのか、検証した 上で要請してほしい」。あ る飲食大手の担当者はそう 嘆く。飲食業界は措置延長

「時短効果検証を」

た。 新型コロナウイルスの 中でも重屈化リスクが低い とされるオミクロン株の特 性を考慮し、経済影響が大 **多い緊急事態宣言の発令に** は慎重だが、蔓延防止措置 でも影響は失して小さくな い。同措置による経済損失 は約2兆9820億円に上 るとの試算もあり、昨年末 に持ち直しつつあった経済

政府は3月、35都県の憲

延防止等重点情質の延長と

高知県への追加適用を決め

となるなど、緊急事態宣言 に比べれば制限は緩和され ているが、午後9時までの 持短営業では集客力の大幅 医下は ひられない。 営業しても採算が見込め ないことなどから外食大手

午篠口茶 午篠石庫、

店再いてど

数業で間ご

4六

オミクロン株の経済的な影響は小さくない

と返点

でき

数店舗 業再開る でおり、1 2店舗がも

スター パックス ーキー

mì.

損失試算2兆跏億円

の離却ととなるに減り始め、 ロナ前の2割にとどまる。 に行われた記者会見で「飲 食店の痛みがまったく分か ワタミでは、今も直営店の ってない」と政府の対応に 店で 業り時中 業りは開

ンで版 万4000

大和証券

の影響を最も受ける業界の一約3割に当たる182店舗 一つだ。酒類の提供が可能 が休業中だ。昨年末に民り つつあった客見も、感染者 営業中の店舗でも客足は「 度辺美閣会民兼社長は1日

ij

mΔ

3X

(10)

8日か ラブマ を中止

このおかかものひにつた。

蔓延防止延長 経済の腰折れ懸念

なく、デルタ株感染も含む一種される。 患者約2万5千人のうち2 るにつれて中澤宝=以上に 53人が、 酸素投与が必要 な「中等症日」以上(重 まで症状が悪化した患者数 底、死亡を含む)の状態に は増加し、約の割が35代以 なった。コロナの重症度 上だった。発症日を0日目 こして、3日目に中等症= は、平吸困難や肺炎の症状 がある場合を中華信しと になったケースが最も多 つ、 がらに 悪化 して 呼吸 下 呼吸 下 悪化した時期が確認で 全になり酸素皮与が必要に きた242人中仙人に上っ なった場合に中等に正とう。と、 と同じ、 といった。 といった。 といった。 といった。 といった。 といった。 といった。 といった。 といった。 でいった。 でいる。 でい。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。

第6波では、年代が上が一た。昨夏の第5波では、悪 答い型がいた。 中等店

になる

アク

関の

確保が

課題に
なる

と

が⊗日目までに悪化してい一思、糖尿病などの特质があ 化は7日目のケース(66 9人中貌人)が最多で、4 日短くなっていた。第5波 で中等症

に以上

の患者は

の ~35代が多く、35代以上は 症例解析では、第6波で

ンの2回接種でリスクが低が増えれば、人々は外出な 域していることも判明し た。高齢で高血圧や心疾、低下するためだ。木内氏は る場合には、悪化する割合 が貼めったという

どの対応を取る必要性が改

めて確認された。概定手段

と受け入れ先となる医療機

感染で働き手減

倒

松

2005 2005

2022/2/11]

産経新聞朝刊

4

よりも深刻だという。 野村総合研究所の木内登 英エグゼクティブ・エロ. ミストも「オミクロン株は |ロナ感染の影響で3H-曝光 | がコロナに感染し、ショー 重圧化リスクは低いとされ、ラインが豚動停止に追い込一の中止に追い込まれた。

実験、トヨタ自動車では 1月36~3日にかけて、コ

医産率 なお1割未満

政府が新型コロナウイルス

ワクチンの3回日医癰を進め

るため、騒内路子ワクチン阻

当相を中心に態勢強化を急い

でいる。岸田文雄首相が目際

に掲げた月内の1日100万

全体の接種率は1割未満にと

どまる。接種が進まなければ

政権への批判が強まりかねな

「打ち手として多くの人に

接する看護師から発信される

情報は一般の人にとって最も

堀内氏はは日、日本言義協

会の福井トシ子会長らとオン

ラインで意見交換し、3回目

接種への協力を呼びかけた。

説得力がある

回版種に近づきつつあるが、

口部生むあるとと情でる。 さらに木内氏は、今回の 生じる」と分析。この影響。長期休業のリスクにさらざ は試算には含まれておられているのが実態だ。 ず、経済への打撃は試算額

どを控え個人消費が大幅に

実延坊上措置の延長で、1

月から続く同情麗による経 状況にある。 県の担当者は「第6波で」に達すると試算。 昨夏の緊 工場だけでなくコンビニ エンスストアや、飲食店な は悪化するまでが早まって、急事態宣言の約半分に相当 おり、高齢者に初期入院な」する額で、今和4年1~3 どでもコロナ感染者が出た 月明の国内総生産(GD ことに伴う休業が相吹ぐ。 P)はマイナス成長となる あるコンビニ大手の関係者 は「販売は割業再課に向け 一素早く対応できるようにな 延長を招いたオミクロン株の、数時間だけ閉めるケー 感染の拡大では、個人消費「スも増えてきた」と話す だけでなく「働き手が減る」が、集団感染となれば人様 ことによる供給側の割約や りなども困難となる。 常に

層の約り倍あったとする結一るが、経済的な影響は大き一まれ、約7万4千台の滅笛 果を確認。一方で、ワクチ い」と背衝する。感染着数 となった。村田製作所の子 会社、福井村田製作所(福 井県越前市)でも1月3~ | プロに | 路感業を停止。 場 在は娛業を再開したが、 も244人が出性できない

8日には東京ディズニー

ランドでも、人気のショー

[グルプトウスカーナ] の

出演者やスタッフなど4人

寒

謹

A COMP

#

型

7

型

に「今が正念場だ」と語る。 ンチームについて、河野太郎 前ワクチン担当相の下で業務 を担っていた蓄議官級の職員 らを 『再結集』 させ、3人態 勢に増員した。大臣室と同じ フロアで作業し、 獣思疎通を 生労動首だけでなく、政府 丸で接種を推進している。

この日は懐疾市の山中竹春市

推移している。堀内氏は閉囲

など団体や目治体への動きか けを強めている。 内閣官房によると、3回目 後種は四日特点で計1108 万回を超えた。1日当たりの 接種回数は9日が約8万回。 19日は約8万回と8万回台で

長ともオンラインで面会する との対談動画を首相官邸の公 式ユーチュープチャンネルで 配信し、11、20回目と異なる ワクチンを医腫する交差医腫 の効果や安全性をアピールン た。接種が進まない背景の

は難けられない。 円骨化。 関係省庁の副大臣ら が、堀内氏は「暫単にはいか を集めた会議なども調き、早ない」と気を引き締める。

政府内には早期に100万 回に達するとの楽観論もある

月内に1日100万回炭値 を達成できなければ、岸田政 **権に対する逆風が強まること**

(阻田楽円)

電品製鋼に型23-

つによ、2回目接種で副文広 が目立った米モデルナ製ワク チンへの忌難感があるとされ ており、不安を払ばし、モデ ルナ製の利用を促す狙いだ。

4日には、届内氏と同野氏

第5波より早まる高齢者リスク高く

BUSINESS INSIDER

「悪夢は終わった。しかし、これも恐ろしい」…救急医が感じたオミクロン株の怖さ



2022年1月5日、ニューヨーク市マンハッタンの病院へ緊急搬送される患者。

REUTERS/Carlo Allegri

- 新型コロナウイルスのオミクロン株は、以前のウイルスとは異なる方法で人々を病気にして いると救急医は話している。
- この変異株は他の病状を悪化させることが「とても多い」と、救急治療室の医師であるクレイグ・スペンサーは言う。
- 彼は「悪夢は終わった。でもこれも怖い」とツイッターに投稿した。

オミクロン株によるCIVOD-19(新型コロナウイルス感染症)は、以前のウイルスと比較し、「人々を別の方法で病気にしている」と最前線のER(救急治療室)で働く医師が指摘している。

コロンピア大学医療センターの救急医療の准教授であるクレイグ・スペンサー(Craig Spencer)博士は、2020年3月に始まった新型コロナウイルス第一波とは異なり、「息切れして」酸素を必要とする患者は少なくなったと2022年1月4日にツイッター(Twitter)に投稿している。

「しかし、その症例数は非常に多く、さまざまな形で患者に影響を与えている」とスペンサーは ニューヨークのERでの経験を話している。

「記録的な数の」新型コロナウイルスの患者がERにやってきており、新型コロナウイルス以外の 患者の数も「極めて多い」とスペンサーは話す。

「第一波の期間は、ERで見た病気はCOVID-19だけだった」

スペンサーによると、現在のCOVID-19は既往症を悪化させているという。例えば、糖尿病患者の場合、糖尿病性ケトアシドーシスという命にかかわる状態を引き起こす可能性がある。

またCOVID-19を発症した高齢者はベッドから起き上がれないほど衰弱し、歩けなくなることもあるという。

さらにスペンサーは、「今までと違う点は、新型コロナウイルスの感染者が、ウイルスを避ける ためにあらゆる手段を尽くしてきた患者の隣のベッドにいることがあり、感染によって重大な被 害を受けてしまう可能性があることだ」とも述べている。その患者とは、化学療法中のがん患 者、免疫不全や他の病気の重症者だという。

公式統計によると、2022年1月3日時点でニューヨーク市内で新型コロナウイルスに罹患し入院 したのは5495人で、2週間前の4倍となり、2020年5月以降で最多となっている。

「あの悪夢は終わった。でもこれも怖い」とスペンサーは述べている。

オミクロン株が最も一般的な変異株になったイギリスでは、2021年12月31日に発表されたNHS イングランドのデータによると、新型コロナウイルス患者の3分の2が、新型コロナウイルスが直接の原因で入院している。

残りの患者は、新型コロナウイルスによって持病が悪化した人、新型コロナウイルスが偶然見つかった人、または入院中だった人などだとユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドンでオペレーショナル・リサーチの教授を務めるクリスティーナ・バジェル(Christina Pagel)は当時ツイッターに投稿している。

「追加接種を受けた人はほとんど見なかった。なぜならば、彼らは感染しても自宅で元気で過ごしているか、普通の風邪やインフルエンザのような症状である可能性が高いからだ」とデルガドは述べている。

一方、ワクチンを接種していても追加接種をしていなかった場合は、多くの患者が「疲労、脱水、発熱」を発症していたことがわかったという。デルガドによると、55歳以上や持病のある人は点滴と「対症療法」のために入院することが多かったが、たいていは1日か2日で帰宅したという。

デルガドは最後に、彼自身の経験ではワクチン未接種の人々は「病気になり、酸素を必要とする ために入院しなければいけなかった。私より若い人もいる」と述べている。

出所:BUSINESS INSIDER 2022/2/7配信